

2050年までに、二酸化炭素の実質排出量ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指す恵庭市は「コープさっぽろ」のグループ会社である「エネコープ」(札幌市、五十里浩輔代表取締役社長)と4月から恵庭下水終末処理場(中島松453)で太陽光発電事業を本格的に開始しました。

この太陽光発電事業は恵庭市と「エネコープ」のPPAモデル(Power Purchase Agreement)「電力購入契約」で行われます。PPAモデルは

「エネコープ」が自治体などの所有する施設の屋根や遊休地を借り受け、無償で発電設備を設置、発電した電気を自治体などの施設が買い取って使うことで、二酸化炭素の排出量を削減する。

恵庭下水終末処理場に太陽光パネルを設置すると、年間約153トンのCO<sub>2</sub>削減が期待されています。

## 恵庭下水終末処理場に太陽光パネルを設置

### 年間約153トンのCO<sub>2</sub>削減

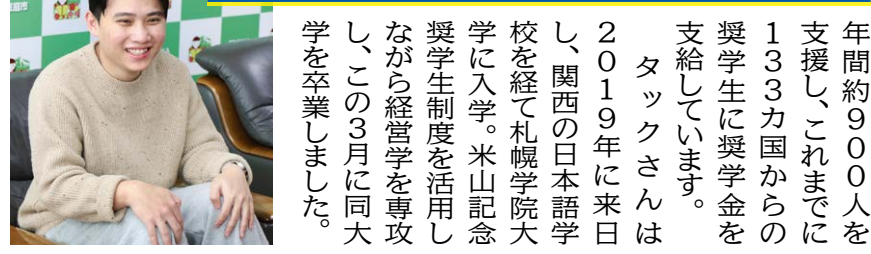


恵庭下水終末処理場には太陽光パネルを606枚設置、うち326枚が「薄型フレキシブル太陽光パネル」です。「薄型フレキシブル太陽光パネル」は従来の太陽光パネルと比較して軽量で設置が容易であり、壁面などにも有効に活用でき、冬場も雪に埋もれないといったメリットがあります。

約153トンの二酸化炭素を削減できます。契約期間は20年のため、約2918トンの二酸化炭素を削減、杉の木換算で約20万8000本分の二酸化炭素が削減される予定です。

事業の開始に先立って3月25日に開かれた記念式典では、五十里代表取締役社長は「地域に貢献できる取り組みに参加させていただき、大変意義深く思っています」と語り、原田裕恵庭市長は「このような事業を積極的に進めていきたい」と意気込みを語りました。

## 米山記念奨学生が恵庭市長を表敬訪問



恵庭ロータリークラブ(大場優光会長)がサポートを担っていた米山記念奨学生のダン・フー・タックさん(ベトナム国籍)が2年間の奨学期間を満了。3月26日に恵庭市役所を訪れて、原田裕恵庭市長らに大学の卒業と4月からの就職について報告をしました。

「米山記念奨学生」は「米山記念奨学会」が日本に在留し勉学や研究を行う外国人を対象に、日本全国のロータリークラブの会員からの寄付金を財源とした奨学金の支給を受けています。同奨学会は日本国内の民間最大規模の国際奨学事業で、

年間約900人を支援し、これまでに133カ国からの奨学生に奨学金を支給しています。

タックさんは2019年に来日し、関西の日本語学校を経て札幌学院大学に入学。米山記念奨学生制度を活用しながら経営学を専攻し、この3月に同大学を卒業しました。

4月からは東京の林業関連会社に就職する予定で「高校卒業後、海外で新しいことを学びたくて日本に来ました。実家は林業を営んでおり、日本でも林業の仕事に就くことが夢でした。その夢がなくなってうれいしいです。今後は、日本とベトナムの林業をつなぐ存在になりたい」と語りました。

大場会長は「日本の文化や風習に触れ、日本をより深く理解してもらえるように、恵庭ロータリークラブ全体でサポートしてきます。彼はロータリークラブの集いにも積極的に参加し、クラブの皆にとって大きな

農業者の高齢化や後継者不足など、農業を取り巻く環境が厳しさを増す中、新たな農業の担い手として期待される「第18期新規就農研修生」の金重博映さんと「第11期ニューファーマー育成研修生」の春日響さんの受入式が4月7日に道央農業振興公社(恵庭市西島松)で行われました。

道央地域での新規就農を希望する「新規就農研修生」の研修期間は約3年です。1年目はトレーニング農場でミニトマトやピーマンなどを栽培しながら基礎的な野菜栽培技術や出荷、販売などを学び、2、3年目は就農希望地域の指導農家のもとで、実践的な栽培技術や農業経営などを習得します。

一方、概ね35歳未満で就農3年未満の農業後継者や新規卒業者を対象とする「ニューファーマー育成研修



生」の研修期間は、基本2年。研修1年目はJA道央の準職員として農協の業務を体験し、2年目は地域の指導農家のもとで実践的な栽培技術などを習得します。

受入式では、道央農業振興公社の今村隆徳理事長が「多くの人と関わり、仲間づくりに取り組み、相談できる人をたくさん作ってください。研修で多くを学び、将来、地域の手本として活躍されることを期待しています」と激励しました。

金重さんは「約20年間サラリーマンをしていましたが、祖父が米農家を営んでいた影響で、農業には以前から関心がありました。これから3年間、研修を楽しく学びたいと思います」と話しました。

春日さんは「私は先日まで酪農学園大学で農業を専攻していました。そのため本来は2年の研修期間を1年で終える予定なので、しっかりと集中して経験を積み、今後の実践への不安をなくしたいです」と決意を述べました。

## 第18期新規就農研修生と第11期ニューファーマー育成研修生 受入式

生」の研修期間は、基本2年。研修1年目はJA道央の準職員として農協の業務を体験し、2年目は地域の指導農家のもとで実践的な栽培技術などを習得します。

受入式では、道央農業振興公社の今村隆徳理事長が「多くの人と関わり、仲間づくりに取り組み、相談できる人をたくさん作ってください。研修で多くを学び、将来、地域の手本として活躍されることを期待しています」と激励しました。

金重さんは「約20年間サラリーマンをしていましたが、祖父が米農家を営んでいた影響で、農業には以前から関心がありました。これから3年間、研修を楽しく学びたいと思います」と話しました。

春日さんは「私は先日まで酪農学園大学で農業を専攻していました。そのため本来は2年の研修期間を1年で終える予定なので、しっかりと集中して経験を積み、今後の実践への不安をなくしたいです」と決意を述べました。

### GW 事前予約来場フェア

期間中、事前予約された方にもれなく JCBギフトカード5,000円分プレゼント!

**GW特別企画 新築住宅支援キャンペーン**

抽選で、リーヴス大和分譲地ご成約の方、弊社より特別に**最大100万円支援!**(先着3棟限定)

1等 **100万円** 支援

2等 **50万円** 支援

3等 **30万円** 支援

※特別企画申し込み期限: 令和7年5月6日土地申し込み迄対象

**注文住宅用地6区画ございます!**  
(997.8万円~1116.8万円) 南向き・公園隣接宅地あり

### フェア会場 千歳 chitose yamato 大和モデルハウス

**ko.bi.na** 古美ナチュラル コ・ビ・ナ

新しいのに懐かしい懐かしいのに新しい。本物素材自然派住宅。

- 土地面積/200.71㎡(60.71坪)
- 1階床面積/56.31㎡(17.03坪)
- 2階床面積/51.34㎡(15.53坪)
- 延床面積/107.65㎡(32.56坪)

【無垢床】床の無垢床にはウォールナットを使用。

【梁】梁の表しにより「木」の質感が空間をデザイン。

【塗壁】自然素材の恵みが調湿効果を高めます。

【造作】大工職人の手作業が息づく造作工事。

YouTube +ko.bi.na はこんな家です

MAP 千歳市大和3丁目 746番158

**4LDK+吹き抜け +フリースペース**  
(外構舗装・カーテン付き)